まだ止められないのか!?喫煙者!!!

～喫煙者の計り知れない損失～
これを見たら絶対止めたくなる

社会開発システム工学科3年　H班
稲垣比佐司　加藤宏樹
妹尾優大　永田裕紀
福間敬介　南岡克彦　山本恭大

背景と目的

最近たばこに対する規制が厳しくなってきている。
学生の思っているたばこに対する意見を調査し、
1. 喫煙者に対する印象
2. たばこを吸い始めたきっかけ
3. 喫煙による健康被害
4. たばこの価格

の4つを使い鳥取大学内での喫煙量の減少をより勧めていきたいと考えた。

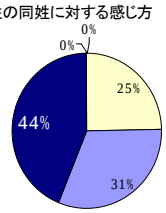
研究方法

健康被害や価格、税金についての既存情報の調査、まとめ。
アンケートで以下の項目を聞く
- ・たばこを吸う異性、同性へのイメージ
- ・喫煙をするようになったきっかけ
- ・1箱の値段がいくらになったら禁煙するのか
- ・一日の喫煙量
- ・喫煙による健康被害をどれだけ知っているか？

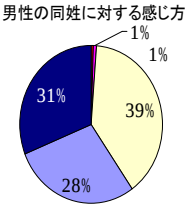
以上の調査結果を使用し、回帰分析、数量化1類などの手法を用いて鳥取大学内でのデータをまとめる。

1. 喫煙の印象

女性の同姓に対する感じ方

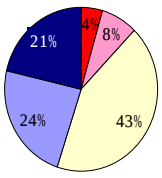


男性の同姓に対する感じ方

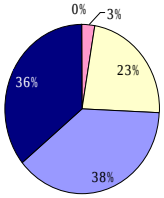


- 1(好感を持つ等)
- 2(身近な人なら良い等)
- 3(気にならない等)
- 4(身近な人は嫌だ等)
- 5(みんな吸わないでほしい等)

女性の異性に対する感じ方

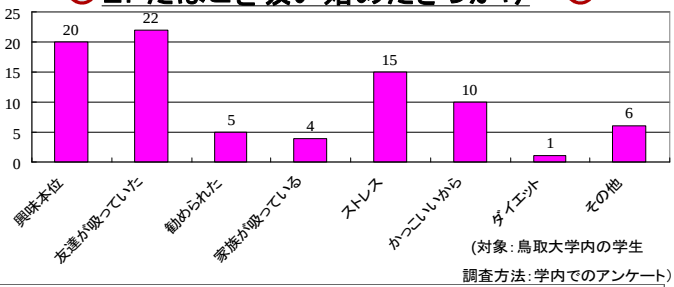


男性の異性に対する感じ方

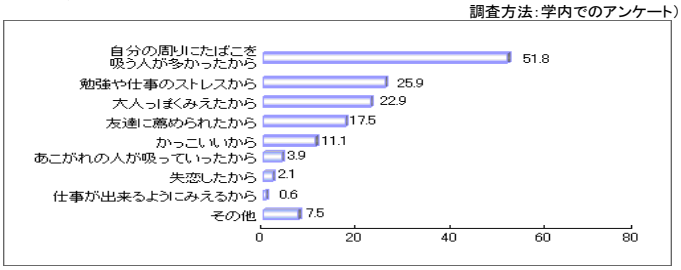


男女ともに良い印象を持つ人は少ない！

2. たばこを吸い始めたきっかけ



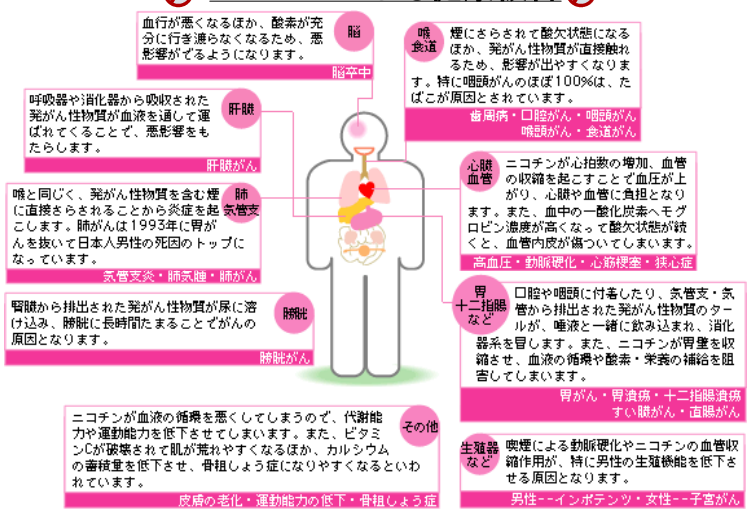
(対象：鳥取大学内の学生
調査方法：学内でのアンケート)



（対象：インターネットコミュニティ「MyVoice」の登録メンバー10,602名）
（調査方法：ウェブ形式のアンケート調査 ）

あなたが喫煙しなければ身近な人の喫煙を防げる！

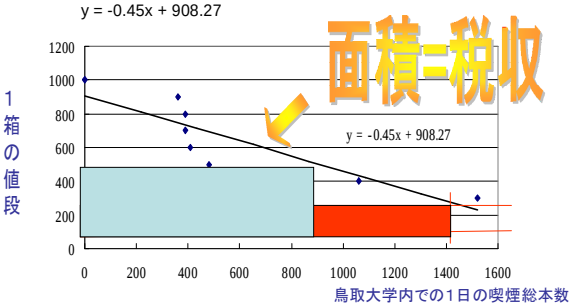
3. たばこによる健康被害



4.価格

アンケートの「現在1日何本吸っていますか？」と
「いくらに値上がりしたら禁煙しますか？」の項目より需要曲線を作成

y = -0.45x + 908.27



現在たばこ1箱300円のうち、税金は約190円。

税収が最大となるのは1箱530円の時で、税収は現在の1.37倍となり、喫煙量は現在の55.52%になる。

（ちなみに全国では、約1,000円が最適価格である。）

参考文献：社会保険新報社「健康日本21　生活習慣を改善しましょう」保険同人社「アルコール　こうしてつきあう」）

健康被害の怖さを伝えると本数は減る！

値上がりすると喫煙者は減り税収は上がる！

解析

たばこの喫煙量、価格、健康被害の認知度の間に関係性があれば
価格健康被害の認知度の推移で喫煙量を減らすことができるかも･･･

本数をy価格をx1、健康被害の認知度をx2とおいて
重回帰式を作成
y=0.01956x1－0.01111x2＋7.2215　　の式がでる

回帰統計	
重相関 R	0.48
重決定 R2	0.23

しかし重相関、決定係数ともに回帰式の信頼性が低いことをしめした。

価格と健康被害を分けて、回帰式を作成してみた

しかしどちらも回帰式としての信頼性は低かった･･･

つまり、喫煙量は、価格や、健康被害の認知度に依存しているとは言えない

まとめ

1. 喫煙者に対する印象
   男女ともに良い印象を持つ人は少ない！
2. たばこを吸い始めたきっかけ
   身近な人が喫煙しなければ、
   新しく喫煙する人は増えない！
3. 喫煙による健康被害
   健康被害の怖さを伝えると本数は減る！
4. たばこの価格
   値上がりすると、喫煙者は減り、税収は上がる！